

第4回未来ビジョン会議

- 1 日 時 令和元年9月4日（水）午後7時から午後8時30分
- 2 場 所 健康福祉センター 2階大ホール
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員20人
事務局（行政経営課長、行政経営課課長補佐、行政経営課主査）
コンサルタント（地域まちづくり研究所 5名）

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) オリエンテーション
- (3) グループディスカッション
- (4) 発表
- (5) 次回について
- (6) 閉 会

5 会議概要

(1) 開会

皆さんこんばんは。定刻になりましたので、ただ今から、令和元年度第4回未来ビジョン会議を開会いたします。

本日は、御多用の中、御出席いただき誠にありがとうございます。

委員の皆さんには、本日から3回にわたり、グループに分かれ、意見交換を行っていただくとともに、4回目に市長さんたちの前でプレゼンしていただきます。

ワークショップの進行は、地域まちづくり研究所の皆さまに行っていただきますので、よろしく願いいたします。

(2) オリエンテーション

はじめに本ワークショップの目的について説明します。

まず、各分野に関する市民の意見や要望を、ワークショップを通じて直接聞き取って、把握することを目的としています。

把握した内容については、総合計画の基礎情報として、計画策定に生かしていきます。市民の意見を計画策定に生かしていくために、伊東市では、本ワークショップ以外にも、中高生ワークショップ、市民アンケート、出産・子育てに関するアンケート等、多様な手法で市民意向を把握していこうと作業を進めています。本ワークショップはその一環であります。

二つ目の目的は、市民が市の現状や将来像について具体的に考える機会を創り出すためです。このワークショップの開催によって、市民が市の現状や将来像について具体的に考える機会をつくり、参加者にまちづくりに興味を持っていただき、将来的に具体的な活動に参画していくことを期待するものです。

これら二つのことを大きな目標として、本ワークショップを進めていきます。

さて、本ワークショップは、本日を含めて4回開催する予定です。

本日は、伊東市の今について考える、5回目は伊東市の将来像について描く、6回目は、将来像実現のための手法を考えます。そして最終回では、これまでの意見交換の内容を市長にプレゼンテーションしていきます。

本日の内容ですが、今の説明が終わり次第、グループディスカッションに入ります。そして、グループディスカッションの内容を他のグループの方々に説明するための振り返りタイムを設けています。各グループで意見交換の結果を発表し、最後に、全体で意見交換をします。そのときに他のテーマで意見があるときは発言してもらいたいなと思っています。

それでは、これからグループディスカッションに入りますが、その前にグラウンドルール、ワークショップの心がけを説明します。

まずは、所属は気にしないということ。ここにいる人は、様々なところから来ています。違った所属の集まりなので、所属を気にしないで、意見交換をしてください。

そして、相手の人が言ったことを否定しないということを注意してください。色んな意見があるのは当然です。そういった意見をたくさん聞きながら、改めて自分の意見を考えて発言するようにして下さい。

そして仲間が言っている事を良く聞いて、分からない事があれば、どんどん質問して、皆で発言内容を理解できるようにして下さい。否定的な意見ではなく、もっとこういう意見もあるなと思った事は留めずに出して下さい。意見がたくさん出る事によってグループディスカッションが活性化します。今日はなるべく1人1回は発言をするよう心掛けてください。

今回は伊東市の良い所、悪い所を皆さんで確認していきます。いいなと思う所、好きな所、守っていききたい所などポジティブな意見は青いカードに書きます。反対に、良くないとか直したい事、問題などはピンクのカードに書きます。皆さんには個々にカードに書いて頂き、カードを模造紙の上に貼りながら意見を発表していく形をとります。

壁に貼ってあるのが高校生ワークショップの結果です。あのように1枚の模造紙の中にまとめるかたちで進めてください。

ただし、今日はテーマ別のディスカッションですので、テーマに即して書いてください。改めてテーマを確認しますと、テーマ1は医療健康福祉に関する内容、テーマ2は都市や中心市街地、環境分野に関する事、テーマ3は教育、歴史、文化に関する事、テーマ4は観光、農林水産、商工など産業的な内容になります。テーマに合う意見なのか悩む場合も気にする事なく発表してください。

(3) グループディスカッション

それでは私の方で時間を区切りながら進めます。初回なので各テーブルで簡単に自己紹介をしてください。所属とお名前くらいで良いので順番にお願いします。

ー自己紹介ー

自己紹介が終わりましたら5分位とります。まずは青いカードに良い所を書いてください。1枚につき1つの内容です。何枚使っても良いのでどんどん書き込んでください。

ー伊東の良いところを記入ー

それではカードに書いた内容を発表します。発表の仕方はテーブルの中で誰か1人を決めてもらい、1枚の内容について説明しながら模造紙に貼ります。その内容を聞いて同じ

様な事を思っていたら、それについてカードの内容を説明して貼っていきます。まずは同じような意見を模造紙の上に貼りながら発表していく形をとって下さい。話していくうちに紙に書いていないことと思う事があった時は、どんどん口に出して発表してください。各テーブルの補助スタッフがその内容をカードに書き留めていきます。

ー伊東の良いところを発表ー

今度は同じようにピンクのカードに問題のある所や改善したい所などを書いください。

ー伊東の改善したいところを記入ー

各テーブルでピンクのカードを書き終えてきたら、また1人1枚ずつ発表しながら並べていってください。

ー伊東の改善したいところを発表ー

最後の作業について説明します。並べたカードで同じような内容のものをまとめていく作業をしてください。高校生の結果を見るとわかりますが、同じようなものを集めて線で囲み、どんな内容が書かれているか黄色いカードに書いて貼ります。そうするとここではこういう傾向で意見が出てきたことがわかると思います。終わりましたらグループ名とメンバーの名前、各グループのテーマを模造紙に書いください。この後の発表はメンバーの方々にお願いします。代表者は1人でも、2、3人でも構いません。概ね5分程度で発表して頂きます。

(4) 発表

それでは今から発表をして頂きます。各グループの発表が終わってから、全体の中で意見交換をする時間を取ります。では始めてください。

ア グループ1発表(テーマ:医療・健康・福祉)

私達のテーマは医療・健康・福祉になります。伊東市の1番の魅力は自然が豊かである事で、豊かな自然の中で子育てができる事、田畑が多く高齢者の生きがいに繋がっている事を挙げました。

子育てに関しては、高齢者が多いのでアドバイスを得られる部分があるところ、産後のフォローが必要なお母さんに対する支援事業や、実際にお宅に訪問するボランティアがあるところが挙げられました。

福祉に関しては、高齢者の生きがいについてです。市街地に温泉が多く健康に大変良いこと、老人会が充実しカラオケ等が高齢者の生きがいづくりに繋がっている事などがあります。また、健康マイレージがあり、それも生きがいに連動するかと思います。健康マイレージに関して、タクシー制度の充実もあります。

子ども食堂がある事と障害児者への支援も良いところです。早めの療育が出来るような支援制度もあります。保育園等へ訪問して子育ての相談支援を充実させているのも良いところです。

伊東市の改善したい点は、気軽に遊べる公園が場所によっては少ない点、城ヶ崎別荘地に高齢者が多く市政から外れていて地域格差がある点です。別荘地の方にもう少し支援が必要であり充実させて頂く必要があるのではないかという意見が挙げられました。

保育に関して、自宅から遠い保育所に通わなければいけない事、待機児童のお子さんがある事が挙げられました。

高齢者の健康的な暮らしに関しては、他市と比べてお達者度が低い事と、豊かな自然を活かしきれていないという意見がありました。

悪いところは制度の周知で、先ほど各種制度が充実しているとありましたが、その制度を市民の方にどれだけ周知徹底されているかという点です。制度がたくさんあるけれど、結局の所良く分からない。各種制度に対する発信が少なく私達が分からない。弱者の方々のニーズが透明化されていないから分からないという事もあります。生活弱者や高齢者の声が市政の方に届かないのではないかという所。何回かお話があったそうですが、市からのアンケートが届いても障害のある方や高齢の方は理解ができず答えるのに難しい面があるのではないかという所。またSOSを出しにくい人にも情報が欲しいという声すら届きにくいのではないかと思います。

あとは医療施設です。交通手段が整っていないので医療施設に通う事が出来ない方々が多い。介護や発達障害など、相談内容が横の繋がりが無いために共有されない部分があるのではないかという点も残念なところだという話が出ました。

イ グループ2発表（テーマ：都市・中心市街地・環境）

都市・中心市街地・環境分野というテーマで話し合いをさせて頂きました。キーワードに沿っていきます。

まず防災の良いところは、田舎特有の消防団という組織があるので、今後うまくやれば防災活動に役立つ事が出来るのではないかという意見が出ました。あとは避難先が豊富であること。逆に悪いところは、周知徹底があまり図られていない事と、観光客への防災対策がかなり脆弱ではないかという意見が出ました。

水については、買わなくて済むというのと、千葉県と比べて水道水の水質が良いことです。

住環境と自然環境については、公園が近くにあり子育てしやすい、近所のおじさんお婆さんが気さくに話してくれる、自然が豊富であることなど、子育てしやすい事や人が良い事、自然が豊かである事が良い所です。

一方、住環境の悪いところとして、浄化槽が整備されていない事、住宅費は低いですがガスやガソリンが高く、生活必需品も高いので都内の暮らしと大差ない生活費がかかるなどが挙げられました。

中心市街地は良いところがなく、簡単に言えば商店街が寂しいことです。どのように観光して良いか分からない、周遊ルートが分かりにくいなどの意見がありました。

土地利用については、良いところは土地が安く、広いという点。悪いところは、遊休地がたくさんあり、今後さらに遊休地が増えて行くと思うので、その活用が図られていくのかどうかよく分からないという意見がありました。

道路については、雪対策が出来ていない所です。地域によって雪が降る所がたくさんあります。また、国道が2車線化されている所とされていない所があり、2車線化されている所が無駄ではないかという意見がありました。悪いところは脇道がたくさんある事で、良いところは主要道路への整備がされている所です。

公共交通については、良い所が1つも出ませんでした。料金がなくて不便という事が悪い意見として挙がっています。

ウ グループ3発表（テーマ：教育・歴史・文化）

教育・歴史・文化、スポーツについて、まず結論からお話させて頂くと、現代の子どもが忙しすぎる事が大きな問題としてあります。子どもの数が少ないために、地域活動や様々なところで子どもの取り合いにもなっている状況であり、根本的な問題として中心部分に挙げています。

「教育」の良いところは、学校まで歩いていける環境であり、自然や地域の方との触れ合いができていること。悪いところは、子どもたちが中学・高校・大学と卒業していくと伊東から出て帰ってこないのが、市の宝を失うようで非常にもったいない点です。子どもが少なくなれば、学校の統廃合の話が今後進んでいくことも問題です。

また、情報社会の時代に即して、新しいカリキュラムや情報教育のような新しい分野も出てきます。タブレットなどの環境整備や、有害な情報などから子どもを守るため、情報のとりあつかいを学べるようにするなど、情報社会への対応も求められます。しかしながら、そうしたこともまた、子どもが忙しくなることに繋がっていきます。

「歴史・文化」に触れますと、伊東自体は平安時代から長く続く歴史ある町であるにも関わらず、伊東に住んでいる人達は歴史の事を良く分かっていなかったりします。伊東祐親や三浦按針が何をどう過ごしていたのかも良く分かっていない。そういった不勉強さが地域の文化、祭り等を守っていくうえで、もう少し下支えになっていければ良いと思います。先ほどの情報の話にもなりますが、歴史や文化を気軽に見れるよう、フリーWi-Fiなどの環境整備の充実を図ることで、外国人の方も気軽に遊びに来やすくなると思います。

「スポーツ」については、伊東からも近年プロ野球選手になった人が出たり、小学生でスペインのリーグに留学するような子どもがいたり、非常に個々ではスポーツが盛んではあるものの、中学校も含めて子どもの数が少ないので部活が維持できない所もあります。昔から伊東は巨人軍のキャンプ地であった歴史もあり、1年中スポーツが出来る環境であるのにも関わらず、その施設があまり整っていない。そういった所が充実してくれば、スポーツ合宿に行きたいという団体やクラブチームなどが伊東に来てくれるのではないかと思います。ただスポーツ施設は市のためのもので、市民が使わなければ伊東市としては作っても意味が無い。子どもも大人も、スポーツ施設・文化施設・図書館を含めて多様に利用できるようなになると良いですし、忙しい子供たちを少しでも自由に遊ばせてあげられるような環境や、気軽に勉強できる施設がある良いと思います。

エ グループ4発表（テーマ：観光・農林・水産・商工）

テーマは観光・農林・水産・商工です。まず伊東の強みとして、自然環境がとても良いことが共通意見としてあります。海が近くにあり、ダイビングなどが出来ることは特に強みになると思います。また、外国人の方にも非常にウケが良いものとして大室山があります。大室山は形が特殊でジオサイトに指定されていることも強みです。

温泉はポンプの汲み上げ式ではありますが、流出量が全国4位で源泉が非常に多いという強みがあります。温泉は観光客を惹きつけるのに十分な力があると思います。

食については海鮮。海があって海の幸があるというのは多くの人を惹きつける魅力であると思います。ご飯がおいしい、特に魚が美味しいといった意見が出まして、海産物が伊東の魅力であると思います。

古い街並みは、伊東のあまり発展していない部分が逆に観光客にウケるといった状況があるようです。特にインバウンドを考えると外国人は街並みを観る方が多いと思いますので、そこも観光に強いと思いました。

あとは人口に対してお菓子屋さんが多い事です。金沢市と同じくらいお菓子が多いまちである事は、意外と知られていないですが、伊東の長所というか特長です。

「夜の町」とありますが、伊東は人の距離が近くて非常にコミュニケーションが生まれやすいという良さがあります。都会ではスナックの文化があまりないという話があり、伊東は人と近い距離で話したりお酒を飲んだりカラオケを歌ったりといったスナックの文化があり、夜の町というのがひとつの文化として成り立つのではないかといい意見がありました。

他にもグループ分けが出来なかった意見もありますが、これらが全体的には長所の部分になります。

続いてデメリット、短所になります。白熱して意見が出た部分が、「町のありかた」についてです。若者を惹き付ける魅力に欠けるということ。主に商業施設が無いこと。ネットで買う事は出来るけれど、実際にお店で物を見て買う事は出来ない。街なかで暮らす若者にとっても、市外から来た方にとっても買い物に不便を感じていると思うので短所に挙げました。

まちづくりの部分に関わってきますが、ドーナツ化現象が進み、中心市街地に人が少なく、商店街はシャッター街が出来てしまい、観光客の方に来て頂いてもまちの賑わいとして魅力に欠けると思います。

プロモーションについては、上手にやっていないという意見が多く出ました。先ほどのメリットで自然環境が良いとか食べ物が美味しいなどが挙げられましたが、あまり知られていないという部分があります。ブランド力が足りない、情報発信の仕方、プロモーションがうまく出来ていないがために、地域資源を活かしきれていないのではないかといい意見がありました。観光都市として、プロモーションという形で市外へ発信する力が弱いことを皆認識していました。

「インフラ」でまとめていますが、アクセスが比較的都心からは良いという意見がある一方、新幹線が熱海までしか停まらない、伊豆縦貫道も伊東まで直に来られるものがないという意見がありました。また、海を売りにしているわりに、ビーチの砂浜が黒っぽいとか、海の透明度が低いなど、いまひとつな部分があるのではないかといい意見がありました。

正直なところ、メリットにもデメリットにも同じ事を書いてある事が非常に多いです。発信の元として、問題に感じていることは、色々な所で過去のバブルの頃の経験で自信を持ちすぎてしまっている年上の方が多すぎるのが印象的です。そういう方達が、新しい形や違うイベントなどを否定しているのではないかとすごく感じます。そのせいで、先ほど前のグループにもありましたが、子ども達の未来へ繋がらない部分が多く出てきてしまったり、昔こうだったからああだったからといってプロモーション下手になっていたり、プロモーションもずっと夏に特化してきたから夏だけという所を盤石に守っていたり、そういった所を崩せていない部分が多々あるかと思っています。

自信を持った人が多い、人が近い、つんでれ、という可愛らしい表現をしましたが、そういった所が問題になっています。伊東市の中で観光を市の格言みたいに掲げていると思いますが、きちんと未来を見るには、若い発想を取入れて新しいものを生み出していく事が大事であり、それができれば全部改善されていくのではないかと思いました。閉鎖的とか高齢化

とかいう言葉を選ばせて頂いたのですが、観光のグループでは、今後色々な物を崩しながら新しいものを取入れないと、このポジティブが本当のポジティブになっていかないのではないかと考えました。

オ 総括

(地域まちづくり研究所)

発表して頂いた1～4グループの模造紙をこちらに並べてあります。皆さんの意見とか思った事など、他のグループのテーマでも結構なので、意見や質問があれば言ってください。

今日は本当にたくさんの意見を出して頂きました。まとめきれないほど色々な意見が出ていますが、先ほど梶山さんが最後におっしゃったように、良い所と悪い所が紙一重な所が多い事を感じました。行政区域が広く、その中に多様な要素が混在している。観光地、自然的な農村風景、駅前商店街のような昔からの住民、色々な人達が色々な形で生活をしており、施策としてまとまりにくい所が伊東市の難しさではないかという気がしました。

そういうものを繋いでいく公共交通とか情報ネットワークなどが、上手く繋がりにくいから非常に難しいのかなと思いました。他の市町はもう少しシンプルであると思いますが、それが逆にこの町の面白さ、魅力であると思います。色々な人達が色々な文化の中で交流して暮らしていく、それが楽しさでもあり難しさでもあるという所なのかなと感じました。今日頂いた良いところ、悪いところを分析・整理して、総合計画の中に反映していくようにしたいと思います。

(5) 次回について

次回は10月8日火曜日です。会場は今日と一緒にこちらの方になりますのでまたよろしくをお願いします。

(6) 閉 会

短い時間でしたが、たくさんの意見を頂きましてありがとうございました。同じように考えていたことをいくつも言われてしまいました。観光で考えると、湯布院のような町は、特定のものに絞って特化していくんだという部分がありますが、伊東の場合はスーパーマーケットのような感じで何でもあるので、それが強みだったり逆に絞り切れない弱みだったりします。観光で考えた場合に、伊東の特性が今言われたような感じが出ていると個人的に思いました。

そんな形で今後あと2、3回意見交換をして頂きますが、活発にご意見を言って頂けるとありがたいなと思っております。今日は本当にありがとうございました。